

平成 26 年度 第 2 回 地域リーダー研修  
**地域の力をいかに高めるか？**  
～三重県松阪市の住民協議会の事例に基づきながら～

淑徳大学コミュニティ政策学部准教授  
コミュニティ政策学科長  
博士（総合政策） 矢尾板俊平

### 1. いま、求められている「地域の力」

地域の力とは・・・（ソーシャルキャピタル、コミュニティソリューション）

- ・身近な地域の課題を、その地域の方々が、考え、解決していく
- ・企業との連携、NPO との連携、大学との連携
- ・役割と責任の分担

### 2. 三重県松阪市の「住民協議会」

地域の課題解決のために、住民主体で創意工夫をしていく仕組み。

- ・住民協議会とは

「地域の課題を、最も身近な地域で解決するために、課題を発見し、共有し、解決をしていくための仕組み」

- ・住民協議会の規模  
→小学校区単位で設立
- ・一括交付金制度
- ・地域の元気応援事業
- ・民間企業との連携事例
- ・「ふるさと納税」の活用
- ・住民協議会の運営

→主な研修内容：会議や申請の書類や会報等の作成、会計事務等を行う。

### 3. 地域の力を高めていくためには

- ・ハードとソフトと制度のインフラ整備
- ・富山県氷見市の事例（住民ワークショップ）
- ・本学の取り組み